



# 田んぼダム



## 『田んぼの多面的機能』

田んぼは、「安心安全な食べものをつくる」という重要な役割だけでなく、古くから自然環境を保全し、さらには伝統芸能などの文化も育んできました。日々の農業活動を通じて国土自然環境の保全などの様々な役割を果たしており、これらを多面的機能と呼んでいます。



## 『田んぼダム』

田んぼの多面的機能の一つに " 雨水を一時貯留し、下流および周辺に徐々に流すことによって洪水を防止・軽減する『洪水緩和機能』があります。

この機能をより多くの雨水を田んぼに貯留させると『田んぼダム』になります。



田んぼダムは  
みんなで! 地域で!  
取り組む活動です。



1枚 1000 m<sup>3</sup> 10枚で 10,000 m<sup>3</sup>  
1,000 t の効果

もっと力を発揮!



【田んぼダムのせき板】



【洪水調整状況】



### ● 水をためる効果

田んぼに水を貯めることで、雑草を抑えることが出来、水の管理により美しい景観がよみがえります。

## 『県下初の田んぼダム』



● 赤穂市周世

平成 25 年 7 月より、赤穂市周世の約 10ha で『田んぼダム』実証実験を開始、実証実験では、雨水を一時貯留させる田んぼダムせき板の配布と啓発のほりを設置、実施 農家への管理アンケート調査やせき板設置による聞き取り調査を実施することで、実地課題及び実施手法を取りまとめます。



『見える活動』



田んぼダム実施前  
田んぼダム実施後

## 『効果イメージ』

実施農家に聞き取り調査の結果、9月豪雨時に田んぼダムを実施した田んぼでは、隣接する排水路の水位が低下確認された。